

バイク事前チェック項目

前日・当日の受付時に車検（バイクチェック・ヘルメットチェック）は行いません。以下にチェック項目の要点をあげました。事前にセルフチェックをして頂き、安全な状態のバイクで大会に臨んで下さい。尚、受付時にオフィシャルバイクメカニックが待機していますが、すべての修理ができるわけではありません。不安な方は、事前にサイクルショップで整備されることをお勧めします。

バイクの構造、装備について

1. ロードバイク、またはトライアスロンバイクである。	
2. ハンドルバーはバーテープを巻き、そのバーエンドはしっかりとふさぐこと。	
3. 使用禁止備品(泥避け・スタンド・車輪カバー・チェーンカバー・ランプ)を取り外すこと。	
4. タイヤはしっかりと装着する。チューブラタイヤはしっかりとリムセメントなどで接着する。	
5. ボトルゲージが1箇所以上付いている。	

バイクの整備について

1. ハンドル廻りのガタ(ヘッドパーツ、ステム、ハンドルバー、DHバー等のネジのゆるみ)がないか。	
2. サドルのゆるみ(シートポストとサドルのネジのゆるみ)がないか。	
3. ブレーキの効き具合に問題はないか。	
4. 車輪のゆるみ、ハブのガタはないか。	
5. 車輪の振れがないか(競技に支障のない範囲であるか)。	

ヘルメットについて

1. 競技用硬質ヘルメットであり、改造していないこと。	
2. 飾りなどの付属品をつけていない。但し、バイザー等の正当なものは許可。	
3. ストラップベルトの改造(伸縮性素材など)はいけない。	
4. 外装、および内部にひび割れがないこと。	
5. 頭にフィットしており、ストラップベルトの長さが適当である。 (目安) しっかりとかぶり、アゴを突き出した状態でベルトがアゴから外れないこと。	

トライアスロンはスイム、バイク、ランを特設コースで連続して行う「競技スポーツ」です。それぞれ種目の特性と危険要因を知り、十分な準備と余裕を持って大会に参加して下さい。当日、笑顔のフィニッシュをスタッフ一同楽しみにしています！

伊勢志摩・里海トライアスロン大会スタッフ一同